

実践研究校の紹介 Part4

今回は、宇部市立鵜ノ島小学校及び萩市立三見小学校の取組の様子を紹介します。

【宇部市立鵜ノ島小学校の授業風景等】



5年生の担任が、宇部市在住の外国人(宇部市小学校英語教育地域ボランティア)とチームティーチングで Lesson6「外来語を知ろう」を教材として、授業を進めました。他の学級の先生方が入れ替わりながら授業参観に来られ、関心の高さがうかがえました。また、日頃の学級経営の賜物か、子どもたちは様々な活動に積極的に取り組み、温かい雰囲気がかもし出されていました。インタビュー活動では、初対面の参観者にも物怖じせず、嬉々とした表情でやりとりをしていました。

校内研修会で山口大学准教授 猫田和明先生に指導を受け、取組の方向性を検証しながら外国語活動が進められています。また、低・中学年の先生方が指導案を作成し、その指導案で高学年の先生が授業をするなど、低・中学年の先生方も関わっている姿が見られました。

【萩市立三見小学校の外国語ルームの様子等】



訪問当日は、5年生の授業が予定されていましたが、インフルエンザによる学年閉鎖のため授業は拝見できませんでした。校長・教頭・教務・外国語活動担当教員の先生方と協議をしながら、日頃の取組の様子について伺いました。三見小学校では、平成17年度から平成20年度にかけ、県の「小中高英語教育連携研究協議会」の指定を受け、英語活動に積極的に取り組んでこられた背景があり、現在は、これまでの取組の成果を検証しながら、新学習指導要領のねらいと合致するように、授業内容の改善充実に努められています。これまでの英語活動では多少スキル(技能)を重視する傾向にあり、コミュニケーションや異文化理解へ先生方の意識を転換していくことが課題だと伺いました。

中学校が併設されているため、中学校の英語教員が積極的に小学校の外国語活動にチームティーチングとして入っておられます。

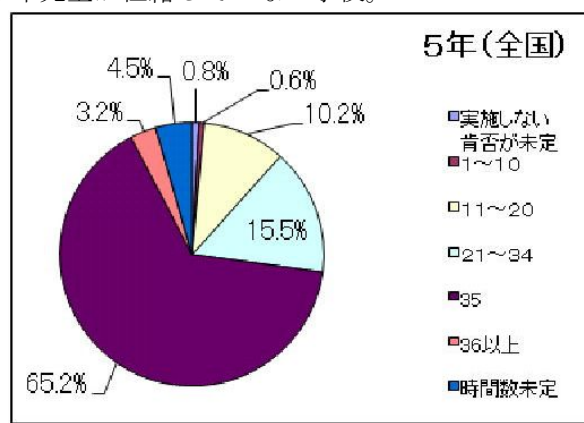
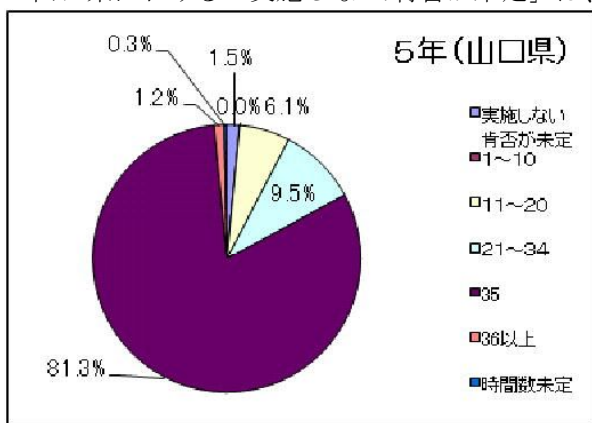
平成22年度外国語活動の実施計画

第7号では、「平成21年度公立小・中学校における教育課程の編成・実施状況調査」から、山口県と全国の外国語活動の実施状況について紹介しましたが、今回は平成22年度の実施計画について紹介します。

(年間の授業予定時間)

【5年生】	実施しない 肯否が未定	1～10	11～20	21～34	35	36以上	時間数未定	合計
学校数(山口県)	5	0	20	31	266	4	1	327
割合(山口県)	1.5%	0.0%	6.1%	9.5%	81.3%	1.2%	0.3%	100.0%
学校数(全国)	181	135	2,179	3,319	13,926	676	952	21,368
割合(全国)	0.8%	0.6%	10.2%	15.5%	65.2%	3.2%	4.5%	100.0%

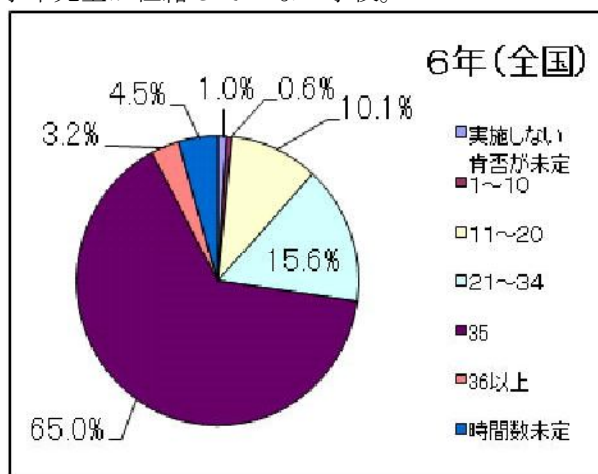
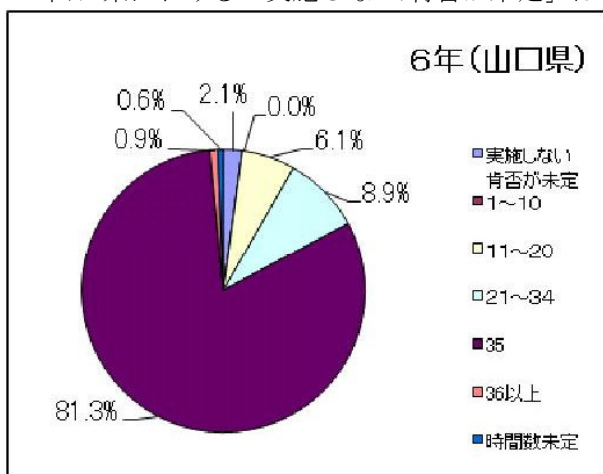
*山口県における「実施しない/肯否が未定」は、当該学年児童が在籍していない学校。



(年間の授業予定時間)

【6年生】	実施しない 肯否が未定	1～10	11～20	21～34	35	36以上	時間数未定	合計
学校数(山口県)	7	0	20	29	266	3	2	327
割合(山口県)	2.1%	0.0%	6.1%	8.9%	81.3%	0.9%	0.6%	100.0%
学校数(全国)	215	136	2,153	3,338	13,887	682	957	21,368
割合(全国)	1.0%	0.6%	10.1%	15.6%	65.0%	3.2%	4.5%	100.0%

*山口県における「実施しない/肯否が未定」は、当該学年児童が在籍していない学校。



山口県、全国ともに平成21年度に比べ、5・6年生いずれも全面実施時の年間35時間に、より近い授業時数を実施する傾向にあります。また、山口県の授業時数の平均値が、5年生は33.1時間、6年生が32.9時間であるのに対して、全国は5年生が31.9時間、6年生が31.9時間といずれも山口県が上回っています。